



生活の豊かさとはなにか？

NTT
コミュニケーション科学基礎研究所

大野 健彦



インタフェースは豊かさの向上に貢献してきたか？



WWW, 電子百科事典

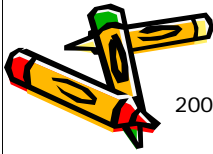
情報量

能力拡大

計算力, 記憶力, 清書,
高速検索

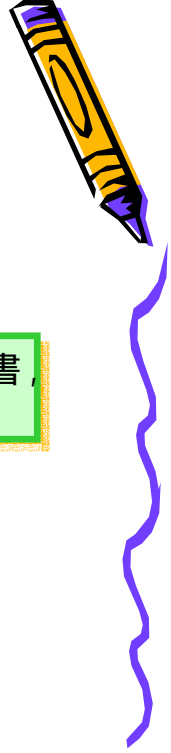
創造性

文書作成,
発想支援



2002/9/20 HIP7

生活の豊かさとは何か？ 大野健彦 (NTT)

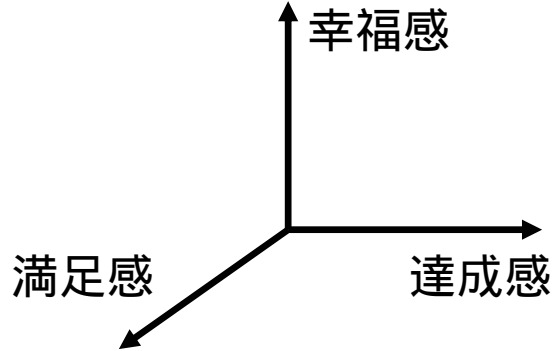


これまで、コンピュータは人の様々な活動を支援するための道具として利用されてきており、今やなくては過ごせないものとなってきました。

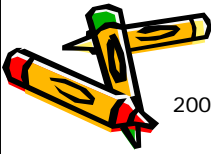
インタフェースに関する研究は、人とコンピュータとの界面を、より薄くする / 滑らかにする / 密にするために欠かせないものであり、人々の間にコンピュータを普及させる上で重要な役割を担っています。

では、「コンピュータは人を豊かにしてきたか？」と問いかけてみると、その答えは「Yes」と言いたいところですが、コンピュータがもたらした豊かさと、日常生活において我々が感じる豊かさには、どうもギャップがあるように感じてなりません。

新しい軸を考える

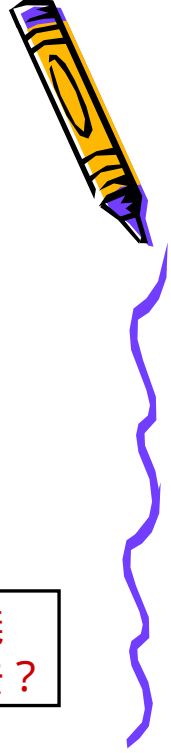


研究課題：
▶ 軸の定義
▶ 評価方法？



2002/9/20 HIP7

生活の豊かさとは何か？ 大野健彦 (NTT)



日常生活における豊かさという観点から軸を考えてみると、コンピュータがもたらした豊かさはベクトルがずれているのではないのでしょうか。

以前、「これからの計算機パワーはインタフェースに使われるべきである」という主張がありました。

これからは、生活を豊かにするための軸を考え、その軸を伸ばす研究が重要になっていくのではないかと考えています。「これらかの計算機パワーは生活を豊かにするために使われるべきである。」という時代が来るのでしょうか？